



## 日本で起こったいちばん強い地震は、いつの地震なの

### 1707年の宝永地震

日本は世界の中でも、地震の多い所です。大昔から多くの地震が、起こっていますが、記録に残っていないものも、あると思われます。

江戸時代は、地震計などがなかったので、正確なことはわかりませんが、地震学者の調査によると、日本で起こった、いちばん大きな地震は、1707年に起こった、宝永地震です。

地震のエネルギーの大きさは、マグニチュードという単位で表します。マグニチュード7以上を大地震、8以上を巨大地震といえます。この宝永地震は、マグニチュード8.4の巨大地震です。

### 東海地方から四国にかけて、ゆれがあった

宝永地震では、東海地方から紀伊半島、四国の南半分にかけての広い範囲で、激しいゆれがありました。その上、津波が、紀伊半島から九州までの、太平洋側や瀬戸内海におしよせてきました。

この地震による死者は、2万人以上になりました。こわれた家は6万戸、津波で流された家は2万戸、といわれています。

また、宝永地震が起こってから、1か月半後に富士山が噴火しました。この噴火で、ふもとの村に、大きな被害が出たほか、江戸にも火山灰が降りました。（監修・国司 真）

